設置説明書

CHUBU

ビルトインＩＨコンロ

型式　　ＤＲ－１ＢＳＡ

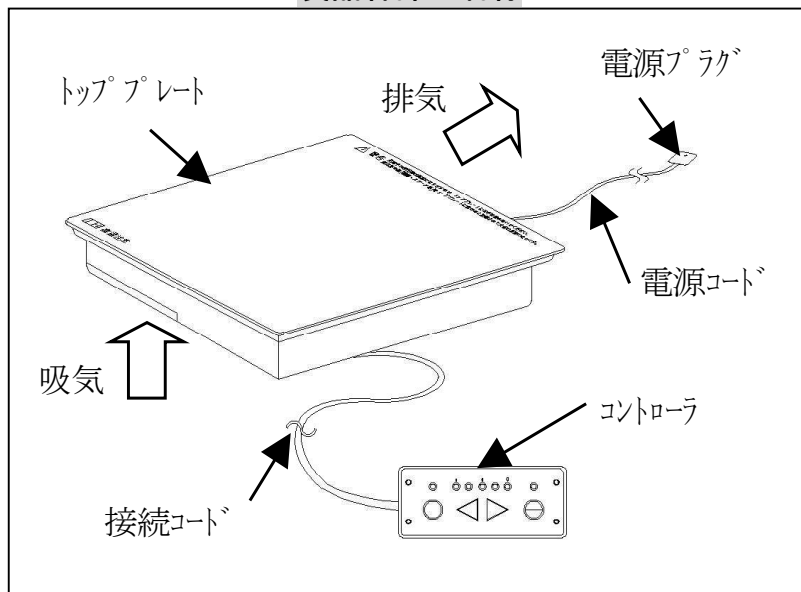
設置される方へ

●設置前に設置説明書と製品に附属されている取扱説明書をよく読み、正しく設置してください。

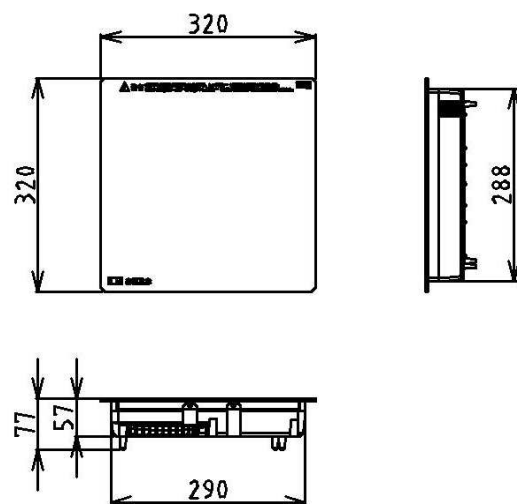
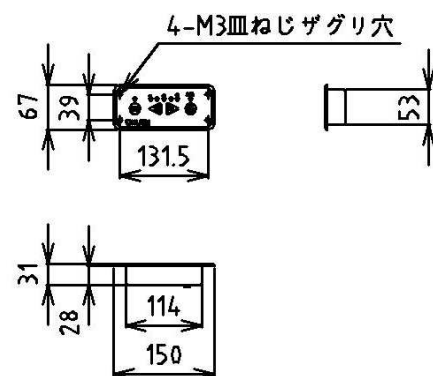
●この電磁調理器を設置する際は、必ず吸排気ができるように設置してください。

●キッチンユニットなどのような閉塞した架台や、吸排気が十分に取れない場所には設置しないでください。電磁調理器内の温度が異常に上がり、故障の原因となります。

●設置後は、必ず試運転を行い、器具が正常に作動していることを確認してください。

製品各部の名称

付属品

皿ねじ（4本）	皿タッピングねじ（4本）	取付ブラケット（2個）
鍋頭タッピングねじ（4本）	パッキン（4本）	タッチパネルシート（１枚）

寸法図

準備していただくもの

マスキングテープ	コード押さえ（5個以上）	シリコン	コード押さえに使用するねじ
幅が20mm程度のもの		GE東芝シリコーン(株)社製 TSE382 又は同等品	タッピングねじを必要数 用意してください

電気工事

●電気工事を行って下さい。工事は電気工事士の免許を取得している方が行ってください。

●お客様ご自身では、絶対に据え付け工事をしないでください。

●安全のために、漏電しゃ断器を設置してください。
定格電圧２００Ｖ、定格１５Ａ、感度電流３０ｍＡ、動作時間０．１秒以内のものを使用してください。

●接地はＤ種接地工事を施工してください。中性線が接地され、単相３線式２００Ｖであること。

●コンセントは、お客様が電源プラグを抜き差しできる場所に設置してください。

据え付け場所

●設置は、火災予防条例、電気設備に関する技術基準を定める省令第５９条に従い設置してください。

●確実に吸気と排気ができる場所に設置してください。

●吸気の温度が、常時３５℃未満の場所に設置してください。

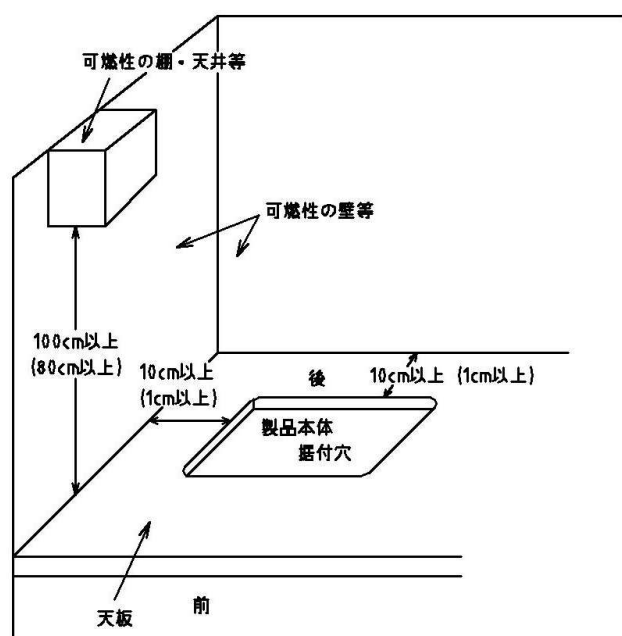
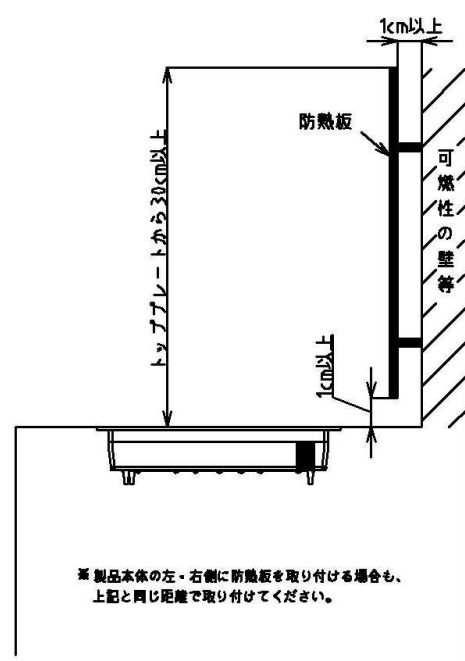
●製品が高温・多湿の空気にさらされない場所に設置してください。

●製品に水がかからない場所に設置してください。

注意

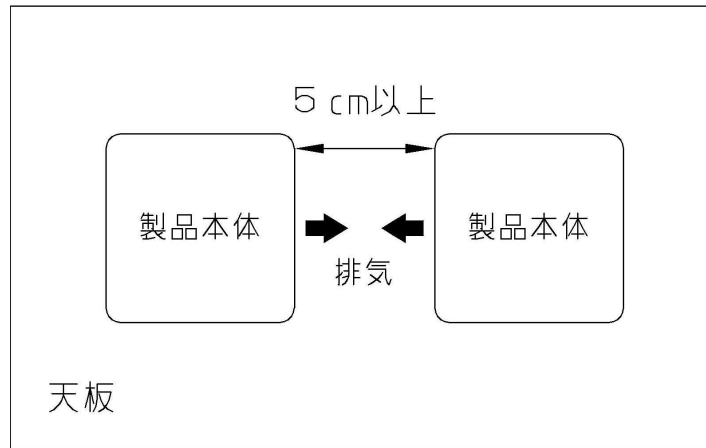
※据付穴は、可燃性の壁（木壁など）から据え付け穴が、左・右・後側１０ｃｍ以上離れていること。
（防火構造壁の場合、その限りではない。）

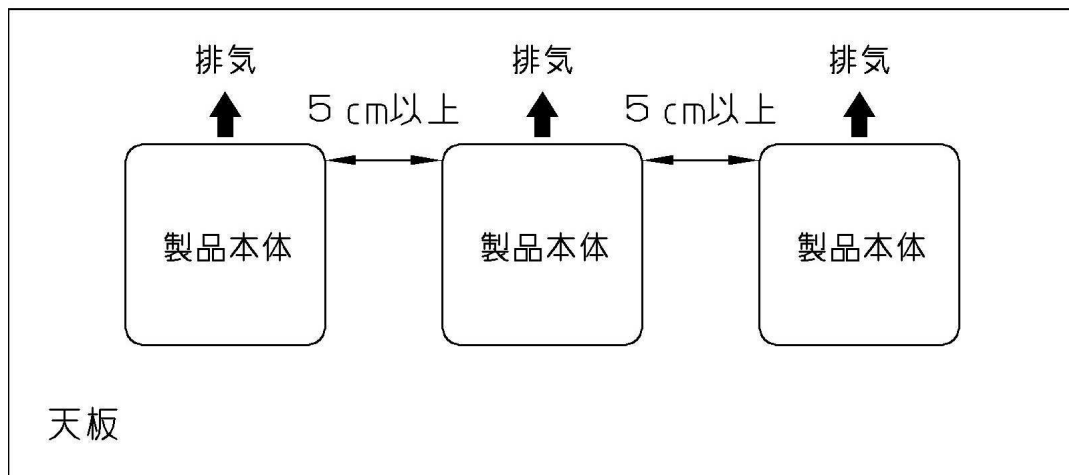
※天板の上面と上方の棚は、１００ｃｍ以上離れていること。

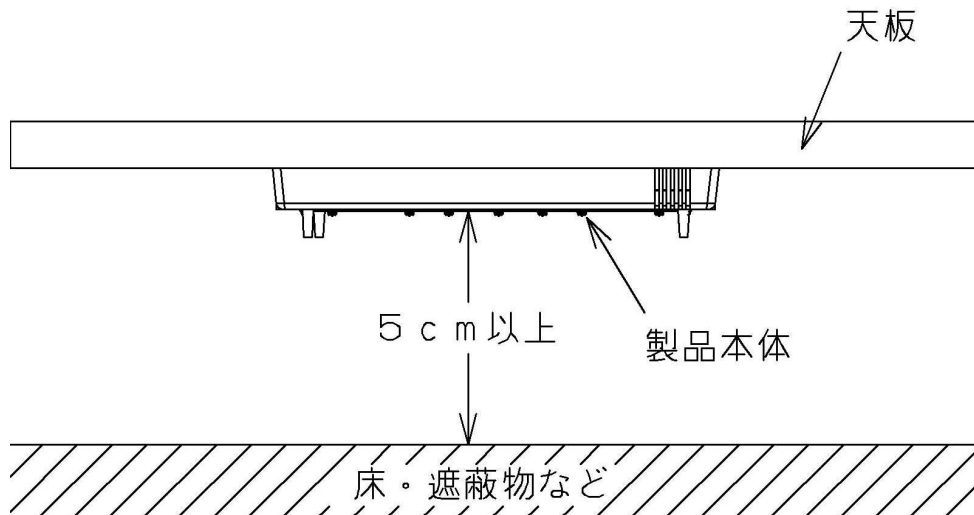
※製品の金属部がキッチン・建造物の壁中の金属（メタルラス・金属板など）などと接触する場合は、電気的に接続しないよう設置すること。
又は、製品の金属部がキッチン・建造物の壁中の金属（メタルラス・金属板など）などと接触しないように設置すること。

周囲が可燃性の壁の場合
[（）内の距離は、周囲が不燃性の壁又は、右図の場合]

周囲が可燃性の壁であり
左図の距離に設置できない場合

設置位置

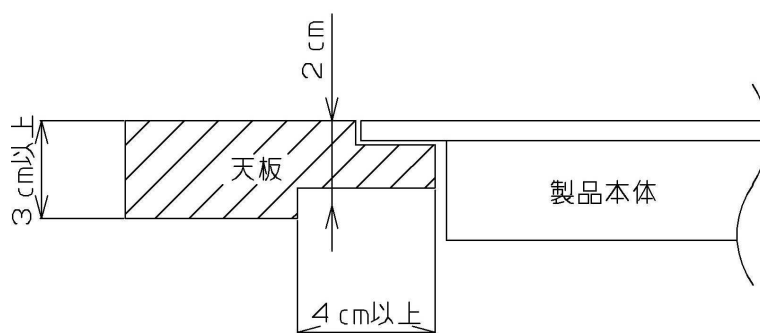
●製品本体を縦方向に並べて設置する場合。

・排気口を向かい合わせる場合は、トッププレートとトッププレートの間を５ｃｍ以上離して設置してください。

●製品本体を横方向に並べて設置する場合。

・排気口の向きを、同じ方向を向くように設置してください。

●製品本体下部から床・遮蔽物の距離

・製品本体の下部から床や遮蔽物の距離は５ｃｍ以上あけてください。

天板について

●天板には製品本体の質量（３．１ｋｇ）・鍋・調理物の重さが加わります。その重さに十分耐えられる強度の天板をお使いください。

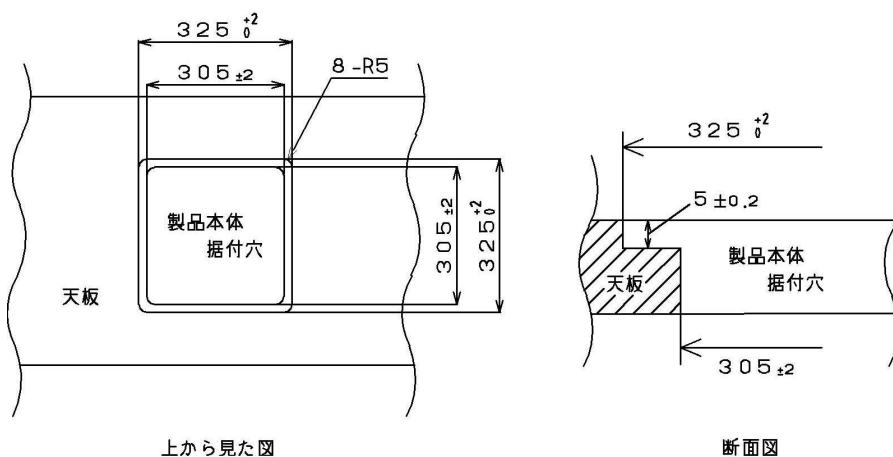
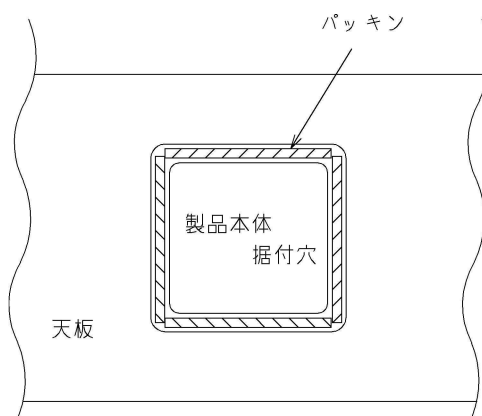
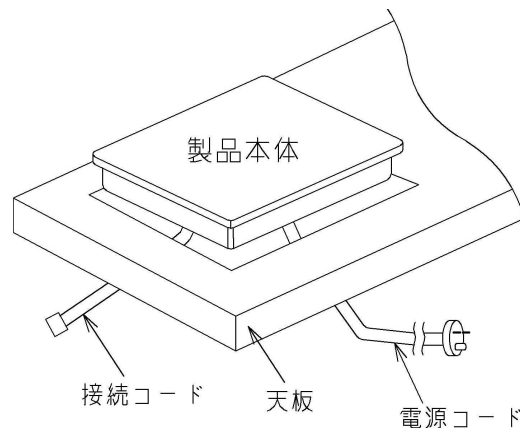
●天板の板厚が３ｃｍ以上の場合は、吸気・排気ができるように製品本体取付穴の周囲を４ｃｍの幅で削ってください。

設置手順

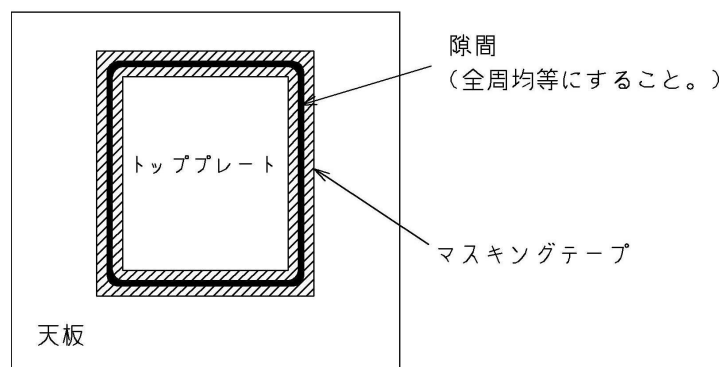
注意

※設置作業時は、絶対に電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。

❶ 製品本体の据え付け

●製品周囲が**開放**状態の場所に設置する場合

① 天板に製品本体据付穴をあけてください。

② トッププレートが天板に載る部分に、付属されているパッキンを貼り付けてください。

③ 電源コードと操作パネルコードを据付穴に通して製品本体をはめ込んでください。

④ トッププレートと、天板にマスキングテープを貼ってください。

※トッププレートと天板の隙間の幅は全周均等になるようにしてください。

⑤ 隙間にシリコンを流し込むように塗布し、余分なシリコンをゆっくりときれいに拭き取ってください。

⑥ 拭き取ったらマスキングテープをゆっくりはがし、一昼夜天板を水平に放置してシリコンを硬化させてください。

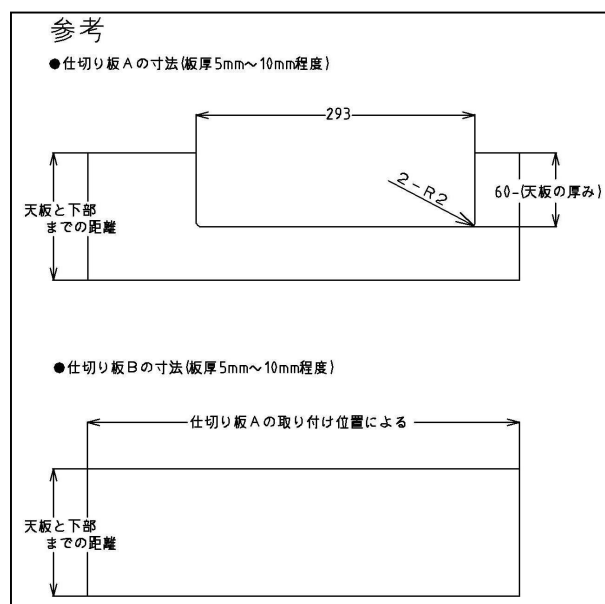
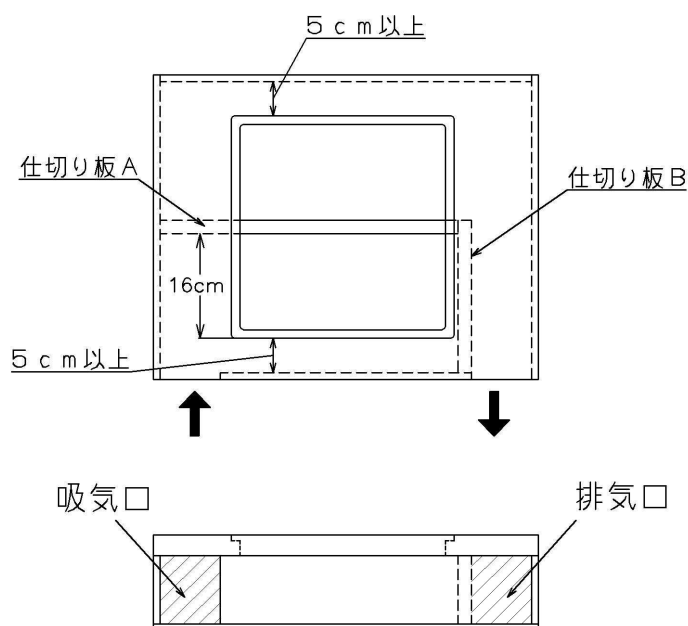
注意

※シリコンが硬化する前に動かすとシリコンに隙間ができ、水などが電磁調理器本体の中に入って、感電や故障の原因となります。

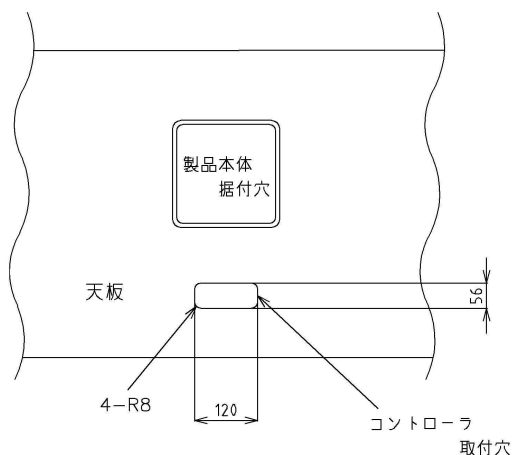
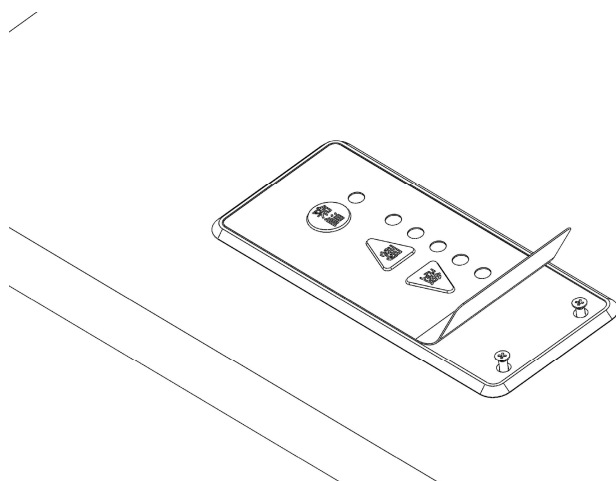
※シリコンに異物（ゴミやホコリなど）が付着しないように保護してください。

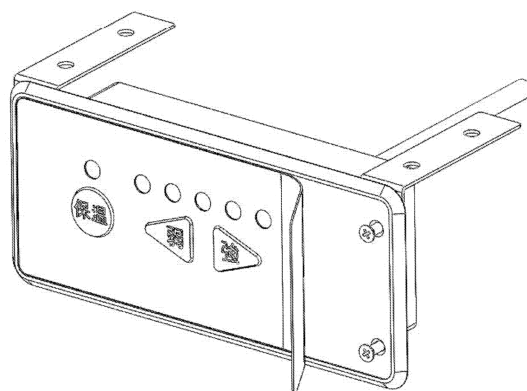
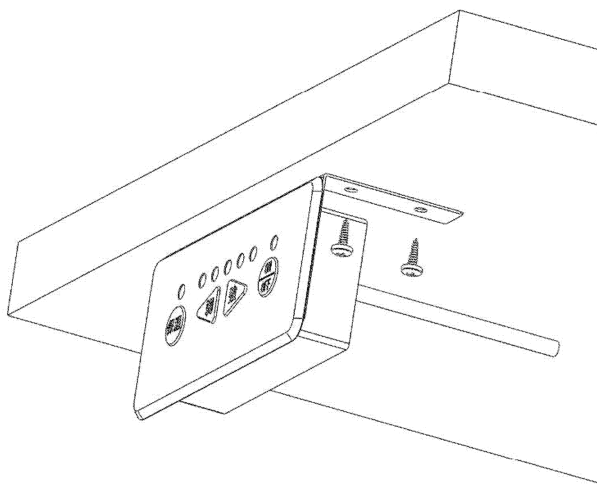
●製品周囲が密閉状態の場所に設置する場合

■ 仕切り板を使用する場合

- 吸気口と排気口を設けてください。
- 吸気口と排気口の大きさは、１台あたり１００ｃｍ^{2}以上としてください。
- 下図のように吸気と、排気を分ける仕切り板を設置してください。
（製品本体の故障などにより、本体を取り外す可能性があるため仕切り板は取り外し可能にしてください。）
- 製品本体の吸気と、排気の妨げにならないよう下図の通り、５ｃｍ以上間をあけてください。
- 仕切り板Ａの切りかき部分には、製品本体と仕切り板Ａの隙間を埋めるため市販のソフトテープ[厚さ 1mm]（発泡ウレタン）などを貼付してください。

❷ コントローラの取り付け

① コントローラを天板の表面に取り付ける場合。

- 天板にコントローラを取付ける穴を開けてください。
- 接続コードをはめ込んでください。

- 付属のコントローラ固定用皿タッピングねじで天板に固定してから、付属のタッチパネルシートを貼ってください。

② コントローラを天板の下部に取付ける場合。

- 付属のコントローラ取付ねじ（皿ねじ）で取付ブラケットと、コントローラを取付けてから、付属のタッチパネルシートを貼ってください。

● 取付位置を決めて、付属の取付ブラケット固定用ねじ（鍋頭タッピングねじ）で天板の下に取付けてください。

❸ 製品本体とコントローラを接続してください。

❹ 配線処理をしてください。

●配線はコード押さえなどでしっかりと固定してください。

●コントローラ近傍に、コードを固定するコード押さえを必ず取り付けてください。

❺ 電源を接続してください。

●電源プラグを専用のコンセントに差し込んでください。

❻ 工事終了後の確認

●設置工事が終了したら、下記のチェックを行ってください。

付属品の取付け　　　　　　　　　　チェック

コントローラを天板の表面に据付ける場合	
コントローラ固定用皿タッピングねじ	

コントローラを天板の下部に据付ける場合	
コントローラ取付ブラケット	
コントローラ取付ブラケット固定用ねじ （鍋頭タッピングねじ）	
コントローラ固定用皿ねじ	

外観

トッププレートは汚れていませんか？	

電源・動作

電源は200Vですか？	
コンセントは、電源プラグが容易に抜き差しができる位置にありますか？	
水を入れた電磁調理器用鍋をトッププレートの中心にのせ、ON/OFFボタンを押してください。（電磁調理器で加熱できる鍋を使用してください。） ⇒　　ランプが点灯し、加熱を始めましたか？	
それぞれのキーを押してください。 ⇒　正常に動作していますか？	

●確認が完了した後は、必ず ON/OFF ボタンを押して加熱ランプが消灯していることを確認した後、電源プラグを抜いてください。

●コンセントがどの位置にあるか、お客様に説明してください。